



つながろう

# CO-OP アクション情報

2011年12月7日

第8号

◆被災地の皆さまと共に  
頑張りたい  
～イベント車贈呈式  
あいさつより



日本生協連副会長  
ちばコープ理事長  
田井 修司氏

震災被害と原発事故という想像を超える二重被害の中、復興と事業継続に全力を尽くされるコープふくしまの皆さまに心より敬意を表します。

本日は皆さまの活動に少しでもお役に立てればと願い、イベント車をお届けに参りました。既に1台導入されたみやぎ生協では、短期間に200人のご加入があったと伺っています。

現在、福島県内外で避難生活を余儀なくされている方は、15万人を超えています。千葉県でも3,000人以上、特に鴨川市には重度の障がいのある方300人が避難されており、地域の組合員さんと共に冬物衣料や日用品の寄贈をさせていただいております。こうした取り組みを通して、コープふくしまの皆さまと全国の生協の絆が一層深まり、復興支援の歩みがより着実になることを確信しております。

長い道のりですが、共に力を合わせ、頑張りたいと思います。

## 心も体も温まるボランティアで、たくさんの人を笑顔に

コープいしかわは11月19、20日に、組合員・役職員19人、そして金沢大学足湯サークルの学生約40人で、陸前高田市広田地区の2つの仮設住宅を訪れ、7回目のボランティア活動を行いました。

地元陸前高田市で被災したメーカーである株式会社アマタケさんの「岩手合鴨鍋」の炊き出しや、集会所での入浴剤作り、そして足湯と、内容は盛りだくさん。20日は別の仮設住宅で、これら活動に加え、チラシなどを張るための「掲示板」を製作・設置しました。

参加した組合員の渡辺ひろみさんは、活動について、「私には、ガレキ撤去は難しいですが、炊き出しならできます。おいしいと好評でよかった」と話していました。また、総合企画部の谷口智一さんは、入浴剤作りについて、「寒さに向かう中で、仮設住宅の暮らしに役立つ支援はないかと考え、思いついた」と言います。この入浴剤を隣の「足湯」に利用したところ大変喜ばれ、話が弾んでいました。



「珍しい！」と人気だった鴨鍋の炊き出し。



温かい足湯とマッサージに笑顔がこぼれる。

## コープふくしまにイベント車を贈呈



贈呈式のあと、イベント車が始動した。



車内には、棚や調理スペースなどがある。

11月24日、コープふくしまに、生協への加入ご案内の際に使用するイベント車が納車され、コープふくしま北・南支部（福島県福島市）にて贈呈式が行なわれました。

このイベント車は1.5トントラックで、荷台の中には、常温・冷蔵・冷凍食品の入る棚やケースがあり、生協の説明や試食ができます。以前、みやぎ生協に寄贈された2台（1台は来年納車予定）に引き続き、3台目となります。

当日はイベント車を寄贈した日本生協連・田井修司副会長や、サンネット事業連合・倉田秀昭専務理事、コープふくしま・野中俊吉専務理事をはじめとした役職員63人が出席しました。

贈呈式のあとイベント車が始動。車内の調理スペースでは、温かいうどんの試食を実施。仮設住宅の方が20人ほど集まり、生協のおすすめやコミュニケーションが活発に行なわれていました。

◆リレー寄稿

きめ細かな対応、日本でも



(チェルノブイリ4号炉  
石棺の前で)  
福島県生協連  
専務理事 佐藤 一夫氏

ご支援に心から感謝申し上げます。ベラルーシ・ウクライナ福島調査団※に参加しました。両国とも国が責任を持って除染し、詳細な汚染度マップが作成され、除染・土壌改良・適地適作の政策も明確です。また食習慣に合わせ食品摂取量に基づく細かな品目単位で基準値が設定されています。学校には放射線測定器があり、家庭の食べ物も測定しています。病院には身体用の測定器もあります。

こういう態勢や支援は日本でも必要です。保護者は子育ての不安に加え、健康や食事など悩みは尽きないのです。

「悲劇の中でも自分の人生を探ることが大事」「原発より命が大事」。25年たったチェルノブイリから頂いたメッセージです。

※ チェルノブイリ原発事故で原子力災害にあった地域の放射線対策や健康管理、復興策や生活を直接知るため、ウクライナ共和国とベラルーシ共和国を10月31日から11月7日までの日程で訪れました。

## コープネットグループ、宮城・福島で、憩いの場作り

コープネットグループ※では「被災地を持続的に支援したい」との思いから各地で継続的にほっとできる場の提供を行なっています。

※コープネット事業連合および同事業連合の8会員生協・関連子会社。

### コープネット事業連合「ふれあい喫茶」

コープネット事業連合は、11月21日に宮城県東松島市の仮設住宅で「ふれあい喫茶」を開催しました。みやぎ生協と協力して行なわれ、4回目となる今回は、コープネット、ちばコープ、コープとうきょう、コープながのの職員6人が参加しました。

会場には仮設住宅の人々が続々と訪れ、茶話会のほか松島医療生協の血圧測定、みやぎ生協の「組合員のつどい」も開催。計75人が楽しみました。前日被災地を視察していた、ちばコープ・高津介護センターの君塚法子さんは「津波の被害の大きかった大曲浜を見て人間の無力さを感じましたが、仮設住宅で強く生きる皆さんの姿に人間の強さを再び感じました」と話していました。今後も月2回のペースで開催予定です。



コープネット職員が、じっくり話を聴く。



同じ場所で、みやぎ生協の「組合員のつどい」も行なわれた。



折り紙が会話のきっかけになり、話がはずむ。



ボールで、思いっきり遊ぶ子ども。

### さいたまコープ「ふれあいひろば」

さいたまコープとコープふくしまは、11月26日、福島県南相馬市の仮設住宅で「ふれあいひろば」を共催しました。さいたまコープの職員ボランティアが4月以降、南相馬市で継続して活動してきた中で、現地のボランティアセンターから「すべての世代が参加できる場、親子で参加できる場」づくりへの協力を打診され、コープふくしまの組合員や職員と協力して10月から開催。今回で3回目を迎えました。

今回は、折り紙をしながらのおしゃべりや、外遊びも含めた「あそびのひろば」に、仮設住宅の大人18人、子ども8人が参加しました。同日、南相馬市で泥出しなどに協力していた職員ボランティアも途中加わり、交流の輪が広がりました。



◆3 生協で灯油配達利用者に初回の18ℓ無料提供



いわて生協、みやぎ生協、コープふくしまでは、応急仮設住宅に入居されている方に暖かい冬を過ごしていただくため、そして、家計負担を少しでも軽くするため、全国の生協及び組合員からの募金を活用し、生協の灯油配達利用登録者に、初回の灯油18ℓと灯油缶収納ボックスを無料で提供しています。

◆「浜娘」、受注開始



いわて生協・コープ東北サンネットと取引のあった赤武酒造（岩手・大槌町）は津波で施設を全て失い、従業員も1人亡くなりましたが、いわて生協などの励ましで奮闘を重ね、この秋に盛岡市内の酒蔵を借りて新酒の仕込みを再開。赤武酒造のブランド「浜娘」の受注が開始されました。

<http://www.akabu1.com/>

<復興関連情報一覧>

【岩手県】

いわて生協

●お歳暮ギフト用に被災メーカーの商品新規取り扱い●宅配で供給の復興商品（仮設住宅の方の手作り品）に商品番号シールを貼るボランティア（11/18）●ボランティアバス継続開催●原発・エネルギー問題を考える学習会②（11/24）●宮古中央商店街と球根植え（11/25）●文化鑑賞会クオレ例会「前進座歌舞伎」被災者招待（11/25）●ミニフェスタ（大槌町、12/10）●原発・エネルギー問題を考える学習会③（12/16）●被災地へクリスマスケーキ配達

【宮城県】

みやぎ生協

●「県復興計画学習会」（11/25、12/16）●「打打打団天鼓」ボランティア公演（岩沼店、11/26）●防寒対策でブレスサーモ 10%引き企画●仮設住宅での灯油登録拡大●くらし見直し講演会「収納センスアップセミナー」（12/6）

宮城県生協連

●学習会「宮城県の食品安全行政の推進状況と原発事故後の新たな課題について」（消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ主催、11/28）●緊急シンポジウム「どうする被災地の地域包括ケア」（介護ネットみやぎ主催、12/11）

【福島県】

コープふくしま

●イベント車贈呈式（11/24）●青森県生協大会で報告（11/25）●コープカフェ（11/28）●福島市・伊達市除染ボランティア（11/26、27）●「福島応援隊」第二弾●「せいきょう便」出発式（11/30）●日本生協連被災地訪問企画（12/5、6）

福島県生協連

●福島県有機農業ネットワーク脱原発シンポジウム（11/27）●「絆で復興!!ふくしま STYLE&復興マルシェ」（12/8）●東京都生協連で報告（12/14）

【茨城県】

茨城県生協連

●宮城ボランティアバス運行●放射性物質と農産物講演会（12/9、日立市）

【コープネット事業連合】

●復興支援金贈呈のための被災地訪問（12/7、8）

【パルシステム連合会】

●登米市、南三陸町へ軽自動車15台寄贈●仙台市、いわき市、会津若松市の支援団体等へトラック寄贈●会津若松市内の仮設住宅への買い物・雪かき支援

◎生協の震災復興支援の取り組み情報募集!!

皆さまの地域での生協の復興支援に関する取り組み情報を、お寄せ下さい。  
情報提供用専用メールアドレス [action@coop-book.jp](mailto:action@coop-book.jp)



つながろう CO・OP アクション情報  
（隔週水曜日発行・次回 12月21日発行予定）

発行 日本生活協同組合連合会（会員支援本部出版部）  
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ11F  
Tel : 03-5778-8183 / Fax : 03-5778-8051  
[action@coop-book.jp](mailto:action@coop-book.jp)